

第1回世田谷版気候若者会議 実施報告書

(1) 会議の概要

| | |
|-----|-------------------------|
| 日時 | 令和7年11月16日 |
| 場所 | 世田谷区立教育総合センター 研修室(たいよう) |
| 参加者 | 28名 |
| テーマ | マイアクションを考える |

(2) 第1回会議のプログラム

| 時間 | 内容 |
|------------------|---|
| 13:00~ (5分) | ○開会・あいさつ |
| 13:05 (40分) | ○基調講演「気候変動問題を知る—わたしたちには何ができるか」 講師:東京大学 未来ビジョン研究センター 江守 正多 氏 ※質疑応答を含む |
| 13:45~ (20分) | ○インプットトーク 世田谷区 環境アンケート結果報告 環境にやさしいライフスタイル 世田谷区の現状と取組みについて |
| 14:05~ (20分) | ○参加者自己紹介・アイスブレイク(クイズ) |
| 14:25~ (120分) | ○グループ討議「マイアクションを考える」 <u>テーマ1:自分が行うマイアクションを考える</u> 1:個人で付箋出し 2:グループで共有し、似た意見をまとめる 3:模造紙にまとめ、メンバーがmyボードに貼り出し <u>テーマ2:周囲を巻き込んで行うマイアクションを考える</u> 1:個人で付箋出し 2:グループで共有する 3:グループごとに「タイトル」「誰と」「どこで」「最初の一歩」「必要な支援」を踏まえたミニシート記入 4:with ボード貼り出し (全体共有) <u>テーマ3:個人マイアクション宣言づくり(今後、2週間くらいのマイアクション)</u> 1:マイアクションを記入 2:(できるグループのみ)グループマイアクションを記入 |
| 16:20~ (10分) | ○閉会あいさつ・アンケート記入・QUOカード配布 |

(3) 基調講演

「気候変動問題を知る—わたしたちには何ができるか」

講師：東京大学 未来ビジョン研究センター 江守 正多 氏

【基調講演の要旨】

- ・気候変動（地球温暖化）の基本メカニズムについて
- ・温室効果ガス排出の現状と気温上昇について
- ・温暖化がもたらす影響（海面上昇、大雨・台風の激化 等）
- ・ティッピングポイント（不可逆的な転換点）について
- ・先進国が温室効果ガスを大量排出してきた一方、排出が少ない途上国・将来世代が最も深刻な影響を受ける「公平性の問題」について
- ・世界・日本の排出削減の現状
- ・30年後に“当たり前”になりうる変化
- ・必要な仕組みの転換について



東京大学 未来ビジョン研究センター
江守 正多 氏

【質疑応答のまとめ】

Q1. オゾン層破壊と地球温暖化の関係はどのようなものか。

(回答)

- ・オゾン破壊はフロンガスが原因だったが、モントリオール議定書によりフロンは世界的に規制され、オゾン層は回復傾向。
- ・フロン類は強力な温室効果ガスでもあり、温暖化対策としても削減が進められている。
- ・現在は“代替フロン”も温室効果があるため、ノンフロン技術の導入が進んでいる。

Q2. 北極は大きく温暖化するのに南極はあまり変化していないのはなぜか。

(回答)

- ・北極は海が多いが、南極は巨大な大陸でかつ厚い氷床のため、多少融けても地表が露出せず日射の吸収率が大きく変化しにくい。

Q3. CO₂を回収する技術はどこまで進んでいるか。

(回答)

- ・代表例として、「大気中の低濃度 CO₂ を直接集めて、高圧で地中深く注入し貯留する技術」などが挙げられる。
- ・技術的には可能だがコストが極めて高い。

Q4. 途上国は資金がないが、世界全体でどう支えるべきか。

(回答)

- ・歴史的に排出量が多い先進国が資金と技術を途上国へ提供することが考えられるが、必要額と先進国の拠出額にギャップがあり、今も国際交渉が続いている。

Q5. 世田谷区のような都会と地方でできるアクションの違いは何か。

(回答)

- ・地方は自家用車依存度が高いため、交通対策が重要である。
- ・地方は土地があり、再エネ発電(太陽光・風力)が導入しやすい。
- ・都会は屋根や駐車場など限られたスペースで再エネ導入がポイント。

Q6. 都会が地方の再エネ導入をお金で支援するのは有効か。

(回答)

- ・排出量を“地方で減らした分を都会にカウント”する仕組みは一般的ではないが、地方との連携・市民交流などをセットで進める事例(例:横浜市)もある。

(4) 成果

【マイアクション(個人)】

| グループ | 内容 | 頻度・期日 | 測定方法 |
|------|--|---|---|
| A | 欲しいものがある時に、似たものがないか、メルカリやセカスト、トレファクなどを見てから考える(新品の購入) | 1、2ヶ月に1回(服や物を買う時) | 季節ごとに買った服のうちいくつがリサイクルかカウントする |
| | 家庭で植物や野菜を育てる | まずは1種類から始めて徐々に増やしていく。将来的にはコンポストをして肥料にしたい。 | 毎日世話をする。枯れさせない。 |
| | マイボトルを持参する | 毎日(大学、バイトの日) | 写真を撮る |
| | 電車やバスをあまり使わず、自転車で移動する | 毎日(大学、バイトの日) | 親からもらう交通費を計算して測定 |
| | 古着の購入 | 服を買い替える時/新しい服を購入したい時 | 購入履歴/自身のクローゼットの中身を写真で管理 |
| B | 安いものを大量に買すぎない | ずっと | レシートをためて振り返る |
| | マイボトルを持ち歩く | 出かける度に | ペットボトルを買わない |
| | 部屋で観葉植物を育て、緑を増やす | 2025 年中に! | 今の部屋と比べ、緑が増えたかどうか |
| | 電気をつけっぱなしで寝ることをなくす | 頻度:毎日/期日:次回まで | 去年の使用量との比較 |
| | ボランティア活動による、緑化率を上げること | 若者中心に参加できるものにする | 区内で1つでも参加する(第2回までに) |
| | 自分によく料理をするので、日常で捨ててしまう食材も含めて料理する | 週1で生涯続けたい | まず普通に作って捨てた部分をグラム単位で測る/その後1ヶ月くらい続けた後で、最初と比べどのくらい捨てた部分が減ったかを見る |
| C | 10分早く寝る | 今日から毎日 | 睡眠アプリの利用 |
| | エアコンは真冬まで使用しない/家の中では厚着等で対応する | 12月中旬まで | エアコンアプリで確認 |
| | スマホの使用時間・夜更かししている時間を減らし(1日1h以下)それに使う電力を削減 | 毎日(大学、バイトの日) | スマホ内のスクリーンタイム機能を使用 |
| | 普段使用しているもの(文房具、服、飲食店、…)について製造過程などの環境への負荷を調べる(買う機会があればそれを参考に) | 次の会議まで | 調べた成果品をつくる! |
| D | ビーチクリーンを開催する! | 月1回 | ゴミの量 |

| グループ | 内容 | 頻度・期日 | 測定方法 |
|-------|--|---|---|
| | 賞味期限が近い食べ物を買う | 半月に1回くらい | 1食以上 |
| | 電車までの交通機関の利用を減らして、自転車を利用する | 1ヶ月、遊びに行く時 | 自転車に乗って記録する |
| E | フリマを行う | 売るものを集める／申込みを行う | 来年の夏 |
| | 長く使えるものを購入する | 年内 | 数を数える |
| | リサイクルショップの利用 | 年内 | 数を数える |
| | マイ箸、マイボトルを持ち歩く | 年内 | 数を数える |
| | ペーパーレス化 | FAX・郵送を使う企業 | 半年～1年後 |
| | 必要なものだけ購入する | 月に数回(本当に必要か考える) | 買って実際に使ったか／繰り返し使っているか(2年以上) |
| | マイボトル | 外出する時 | |
| | ムダなものを買わない | 毎日 | |
| | 使い切る | 毎月 | |
| | 使わなくなったモノのリサイクル | 月に1回 | 利用した回数 |
| | 学校の使わなくなった教材のリサイクル | 学校の知り合いや同級生、後輩に必要だったら、自分の使わなくなった教材を使ってもらう | (在学中 ※グループ版の用紙を使用したため) |
| | フードロス削減のために、賞味期限が近い商品を購入 | 週に1回程度(特にお昼、夜ご飯を購入する時) | どのくらいの頻度で行えたかを記録する |
| F | 環境イベントへ参加する!(リサイクル+消費行動) | 毎月する(月1~2回)／継続して行う(1~2年)／取組を意識する | 手帳(メモやノート)などにチェックする! |
| | まずは自分の身の周りのできるSDGs行動を! -マイボトル、エコバッグ、世田谷区&都の環境問題の状況を知る -生活の無駄部分を見つめ直し、余白を作る | 明日から実施／特に出社する平日は意識して行動してみる | 家族などと共有し、一緒に取り組んでみる→自分がやっていることを共有、可視化する |
| | (特に夏)エアコンに頼り過ぎず、自分で自分の身を守るアクションをする -冷却スプレー、冷感布団、パジャマ、早寝早起きなど | 来年の夏から開始してみる | 家族などと共有し、一緒に取り組んでみる→自分がやっていることを共有、可視化する |
| | 環境に配慮した商品を買う | 値段を考慮しながら、無理のない頻度で／特に服を買う時にはしっかり吟味したい | その商品の環境ラベルをチェックする／企業情報をウェブサイト調べ |
| F(続き) | 地域のリサイクルスポットの場所・内容(どのようなものを提供できるか)を確 | 月1回 | |

| グループ | 内容 | 頻度・期日 | 測定方法 |
|------|--|-------|-------------------|
| | 認する／可能であれば持ち込んでみる | | |
| | 世田谷区の再生可能エネルギー生産率(他自治体での太陽光エネルギー？からの購入先)を調べる | 1度 | |
| | マイボトルをなるべく活用する →ペットボトルを利用する際にもリサイクルされるように | 毎日 | どのくらいペットボトルを使用したか |
| | イベントに参加してみる／正しい情報に意識して触れる | 月に1回 | どのくらいイベントに参加できたか |

【周囲を巻き込んで行うマイアクション(Eグループのみ)】

| グループ | 内容 | 協働相手・最初の一步 | 期日 |
|------|-------------------------------|--------------------------------|-------|
| E | 空調 | 学校 | |
| | 修学旅行、課外学習への参加 | 学校 | |
| | リサイクルショップを利用する→リサイクル場所が増えてほしい | 行政に伝える(大学、企業なども含む)／SNSで活動を共有する | 数年以内に |
| | 環境について考える機会を増やす→SNSを利用して | | |
| | 空調以外で温度調整(服、冷却用タオル) | | |
| | 食品のごみを減らす(りんごの皮を使って料理) | | |
| | | | |

【第1回世田谷版気候若者会議の様子】

